

5 環境レポートの作成とその概要

京都議定書に続く新たな対策の枠組みを作るためのCOP15等が行われました。しかしながら、中・長期のCO₂の削減問題も集中討議されましたが統一された数値目標の合意には至っていません。温暖化防止の為の温室効果ガスの排出は、早期に抑制する必要があります。その様な背景の中、当学園においては、環境保全・省エネルギーを推進し牽引的な役目を果たしている武蔵学園エコキャンパス委員会が、毎年度事業計画を立案し、実施、検証、見直しとISOとほぼ同等の内容を実行しています。こうした年間の活動状況、環境保全と省エネルギー活動の成果等について、「武蔵学園環境レポート」（部内限りの資料）を取りまとめています。環境レポートの中で学園の状況を端的に数字で表示したものととして「武蔵学園環境インプット・アウトプット表」がありますが、以下の表と分析は近況を示すものです。

平成20年度 武蔵学園環境インプット・アウトプット

温室効果ガス（CO₂）総排出量は前年度比で7.5%減の結果となりました。要因としては、綿密に検討した温室効果ガスの排出抑制措置の実施などにより効果的な削減になりました。今後の対策としては、ボイラから他の熱源への転換を図ると共に、照明やエアコンのきめ細かい制御による節電と日常の節水に一層の努力と協力が必要です。



6つのアクション

●	冷房は28℃ 暖房は20℃に 設定しましょう		●	エコ製品を選ん で買おう	
●●	蛇口をこまめに 閉めよう		●●	過剰包装・レジ 袋を断ろう	
●●●	車は ecoドライブで		●●●	コンセントから こまめに抜こう	

武蔵みんなで取り組もう「チーム・マイナス6%」